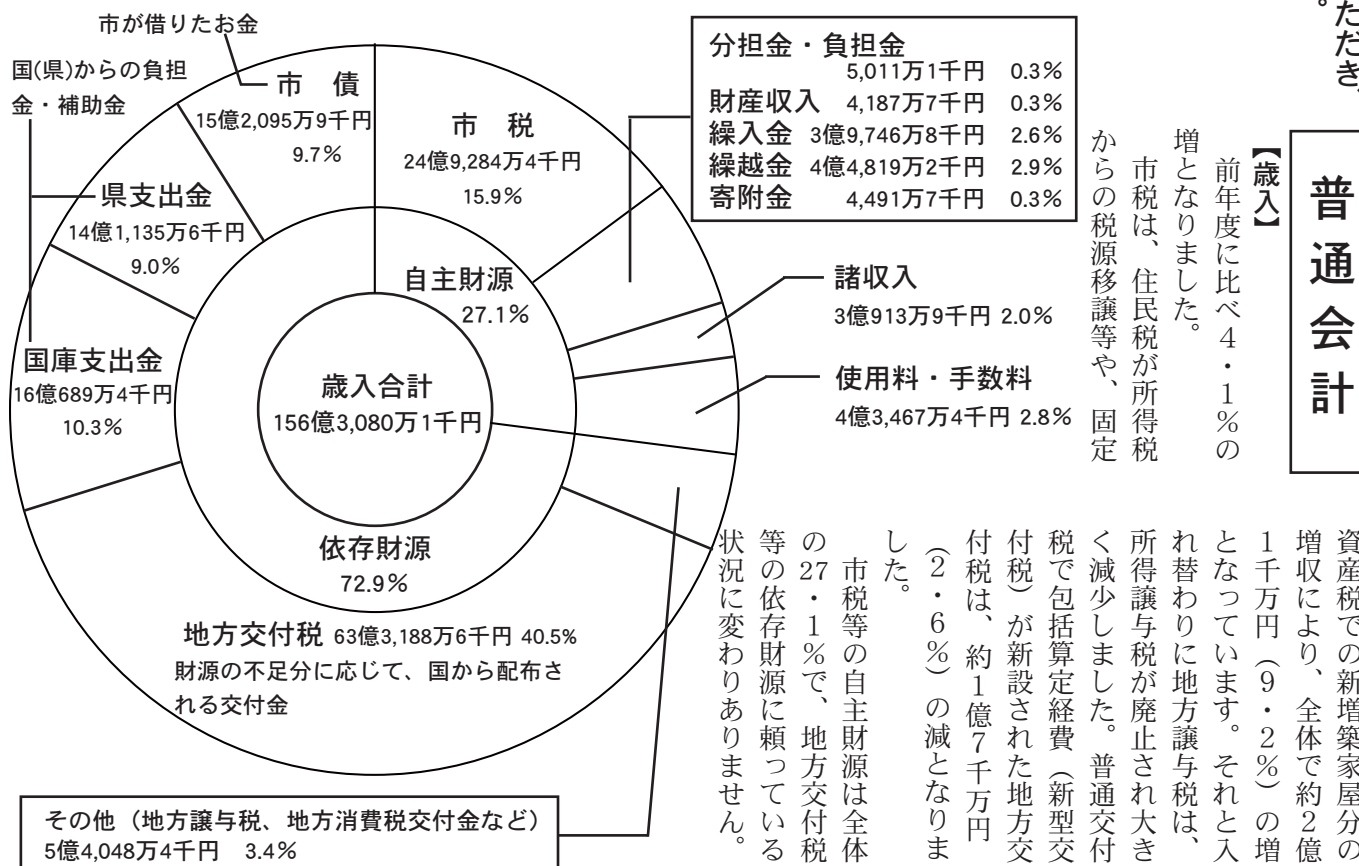


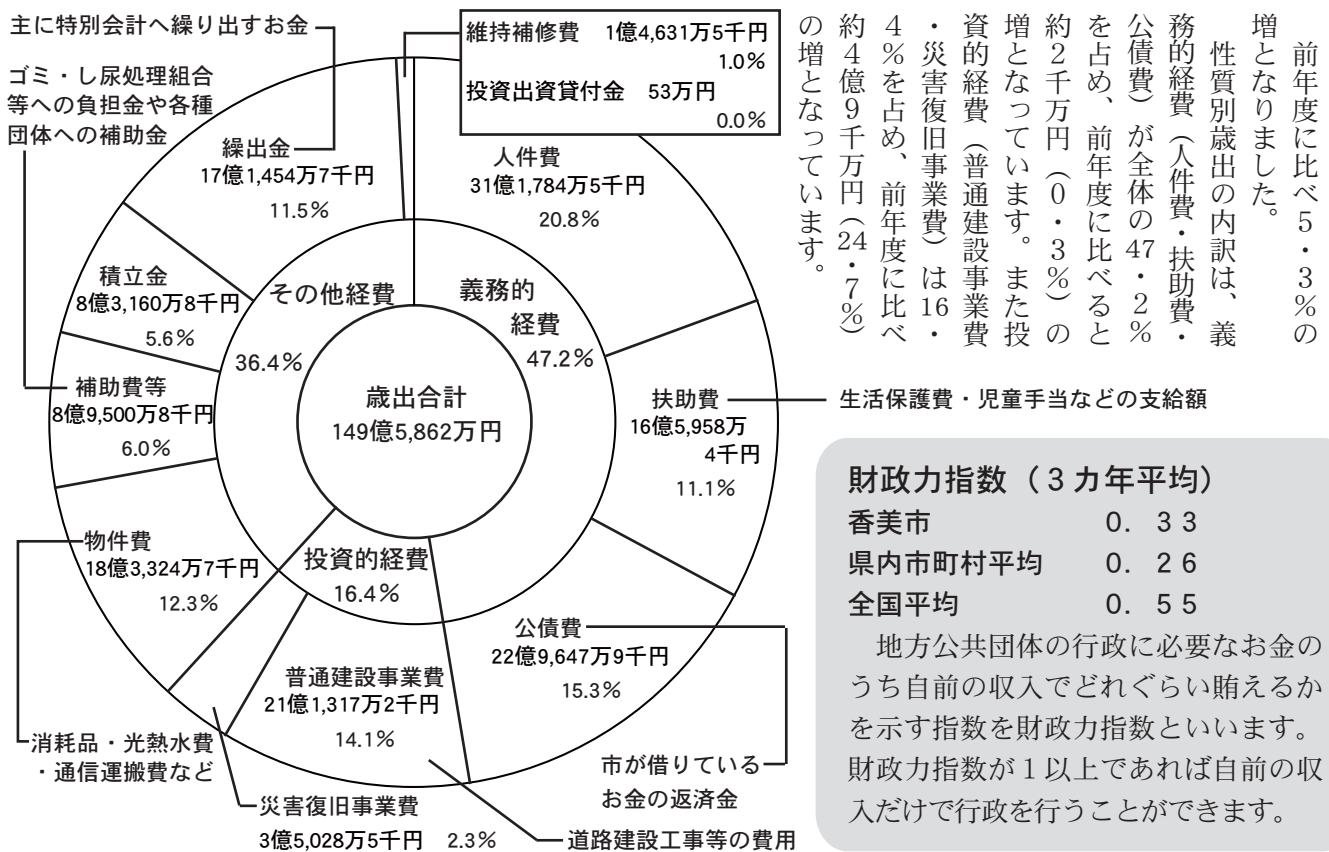
香美市の家計簿です!

平成19年度会計決算

平成19年度決算をお知らせします。これは、皆さんに市の財政事情を知っていただき、今後の財政についてのご理解とご協力をお願いするため、公表しているものです。

	区 分	歳 入	歳 出	差 引
普通会計	一般会計	155億6,635万3千円	148億9,537万1千円	6億7,098万2千円
	住宅新築資金等貸付事業特別会計	9,672万5千円	9,552万6千円	119万9千円
	計	156億6,307万8千円	149億9,089万7千円	6億7,218万1千円
	各会計間の繰入繰出の調整	△3,227万7千円	△3,227万7千円	0円
	普通会計純計	156億3,080万1千円	149億5,862万円	6億7,218万1千円
普通会計以外	簡易水道事業特別会計	5億5,463万9千円	5億5,455万9千円	8万円
	国民健康保険特別会計	42億3,622万7千円	42億286万3千円	3,336万4千円
	老人保健特別会計	53億4,754万6千円	53億4,754万6千円	0円
	公共下水道事業特別会計	5億1,968万3千円	5億1,908万2千円	60万1千円
	特定環境保全公共下水道事業特別会計	2億2,885万7千円	2億2,874万7千円	11万円
	農業集落排水事業特別会計	2,680万円	2,675万円	5万円
	介護保険特別会計(保険事業勘定)	26億6,420万4千円	25億9,601万1千円	6,819万3千円
	介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)	1,191万9千円	1,166万6千円	25万3千円
	水道事業(公営企業)	1億9,809万7千円	1億5,459万9千円	4,349万8千円
	工業水道事業(公営企業)	1,312万円	1,312万円	0円





財政力指数（3カ年平均）

香美市	0.33
県内市町村平均	0.26
全国平均	0.55

地方公共団体の行政に必要なお金のうち自前の収入でどれくらい賄えるかを示す指数を財政力指数といいます。財政力指数が1以上であれば自前の収入だけで行政を行うことができます。

平成19年6月制定「自治体財政健全化法」に基づく4つの指標を公表します

次の健全化判断比率のいずれかが早期健全化基準以上である場合は、国から財政健全化計画の策定を、財政再生基準以上である場合は財政再生計画の策定を義務づけられ健全化が求められます。香美市はいずれも早期健全化基準値以下です。

実質赤字比率 普通会計の歳入総額から歳出総額を差し引いた額と標準財政規模との割合のことです。プラス数値だと赤字、マイナス数値だと黒字になり、香美市は-6.73で、黒字です。

連結赤字比率 市の持つすべての会計を対象にして、黒字か赤字なのかを判断する指標です。歳入総額から歳出総額を差し引いた額と標準財政規模との割合です。この数値もマイナス数値だと黒字です。

実質公債費比率 公債費（市が借りているお金の返済金）と標準財政規模※との割合の3カ年平均です。この比率が大きいと他の支出にまわせるお金が少なくなっていることを意味します。

将来負担比率 市債残高など、普通会計が将来負担すべき負債の標準財政規模に対する比率です。香美市の値は78.9で、基金などの貯金よりも将来支払う金額の方が多くなっています。

平成19年度決算に基づく香美市の健全化判断比率

(単位:%)

	香美市	高知県内市町村平均	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	-6.73	-1.94	13.49	20
連結赤字比率	-11.44	-3.87	18.49	30
実質公債費比率	15.4	18.4	25.0	35
将来負担比率	78.9	176.5	350.0	-

※標準財政規模とは

地方公共団体の一般財源の標準的な大きさを示す指標で、標準的な税収入額と普通交付税額を合算したものです。地方税や地方交付税など地方公共団体が自由に使えるお金の大きさを表しています。

【問い合わせ先】 財政課 ☎53-3113